

明石市議会議員 井藤圭順 レポート

人づくりのまち 明石をめざして



明石市における新型コロナウィルスの状況について

令和3年3月23日時点で738例目の罹患を迎えていた明石では、3月中旬に750例を超える勢いで罹患が進んでいます。細心の注意を払って業務に取り組む市役所の職員ですら、罹患してしまう状況ですので、感染力は衰えるところを知りません。

特に高齢者や疾患をお持ちの方は死亡率が極めて高いことから、緊張感をもって生活する日々がまだ続います。今回は新型コロナウィルスに対して市が取り組んでいる市民向けの案内をお知らせいたします。



相談窓口

発熱や咳などの症状がある場合は・・・

- ① かかりつけ医に電話でご相談ください
- ② かかりつけ医がない場合は“感染したかもダイヤル”までご相談ください

総合相談ダイヤル	078-918-5090
感染したかもダイヤル	078-918-5439
夜間休日応急診療所 (午後9時～翌朝6時)	078-937-8499
生活支援ダイヤル	078-924-9162

夜間に苦しくなってしまい“翌日連絡しよう”と手遅れになってしまわぬよう、お一人で生活なさっている方は特に緊急での連絡をよろしくお願いします。

明石市サポート利用券の交付

交付対象者は令和3年1月1日時点で明石市の住民基本台帳に登録のある以下の方です。

市内在住の70歳以上の方
市内在住の69歳以下で障がい者手帳所有者

【交付内容】

サポート利用券 500円券×10枚
サポート利用券説明書
使えるお店一覧
生活支援ダイヤルチラシ



有効期限に気を付けてください！！

明石市赤ちゃん応援給付金

新生児を対象に給付金を支給します。令和2年4月28日～令和3年4月1日までに生まれた方が対象となります。申請し忘れたご家族やご親族がいないようお声掛けください。

【申請対象者と給付額】

明石市に出生を事由に住民登録された新生児と同居する父または母

新生児1人につき10万円（1回限り）

問い合わせ先 明石市こども局児童福祉課 078-918-5027



罹患した方に対して

罹患者に対する心無い言動が日本中でささやかれています。子育て日本一を標榜する明石市としては明石っ子が世界に羽ばたける立派な大人に育つよう、偏見や差別的な発言を控えるよう井藤圭順は強く願っています。コロナいじめが明石では起きないようデマや噂に惑わされることなく冷静な対応をお願いします。



新型コロナウィルスに便乗した詐欺に注意！！

特別定額給付金の給付を装った特殊詐欺が全国で急増しています。

明石市・兵庫県・総務省が以下をお願いすることは絶対にありません。

- ・ATMの操作をお願いする
- ・受給に対する手数料の振り込み
- ・メールを送りURLをクリックして申請手続きを求める



明石市総合安全対策室 078-918-5069

明石警察署生活安全課 078-922-0110

絶対に教えない！渡さない！

- ・暗証番号
- ・通帳
- ・口座番号
- ・キャッシュカード
- ・マイナンバー

※明石市における2020年の特殊詐欺の被害は49件で被害総額は約9000万円です

明石市における新型コロナワクチンの接種事業について

令和3年3月に明石市より新型コロナワクチン接種事業について報告がありました。接種を希望する市民に対し、迅速かつ適切に接種するための体制についてのご報告となります。ウィルスに対する脅威の低減に関する情報ですので、ご家族・ご友人にも喚起のほどよろしくお願ひします。



接種対象者

- 明石市住民基本台帳登録者 304,328人
- 市内の医療機関に勤務する医療従事者など 約1万人
- 市内の高齢者施設などに入所中の方、及び当該施設の従事者

※ファイザー社製ワクチンは現時点では16歳未満の方は接種対象外となります

接種順位

優先 1 位	医療従事者
優先 2 位	65 歳以上の高齢者および高齢者施設の従事者
優先 3 位	それ以外の基礎疾患をお持ちの方
優先 4 位	一般の方



接種会場

通い慣れた身近な「かかりつけ医」での個別接種を基本とします(市内約 140 の医療機関)。土曜日の午後、日曜日には以下の集団接種会場を設置します。

朝霧地区	あさぎり福祉センター	大久保地区	あかし保健所
明石地区	こども健康センター	魚住地区	魚住市民センター
西明石地区	サンライフ明石	二見地区	西部文化会館

※高齢者施設等の入居者及び従事者については、各施設に嘱託医にて接種する予定です

予約・相談窓口

媒 体	開 設 時 間	開 始 日
コールセンター	9:00~17:00(全日)	3月1日
明石保健所 常設窓口	9:00~17:00(全日)	3月10日
あかし市民広場 特設窓口	9:00~17:00(土・日)	3月20日
ウェブサイト	終日	
L I N E(アプリ)	終日	

※予約の受付は市が接種券を郵送した後から開始します

※ウェブサイトと L I N E は接種券郵送(予約受付開始)のタイミングに合わせて開設します

※感染予防の観点よりコールセンターや L I N E のご利用をお勧めします

接種の手順

接種は強制的なものではなく、皆さまの判断となります。なお、接種に係る費用は無料です。

1. 接種券の受け取り	住民票所在地に接種券を郵送
2. ワクチン接種の予約	個別接種を行う医療機関、コールセンターへの電話、予約受付窓口、ウェブサイト、L I N E で予約
3. 接種会場(個別または集団)でのワクチン接種(1回目)	受付 → 予診票確認 → 予診 → 接種 → 接種済証の受領 → 状態観察 → 退室
4. ワクチン接種の予約と接種会場でのワクチン接種(2回目)	・1回目のワクチン接種後に2回目を予約 ・所定の期間(ファイザー社製の場合は21日)をあけて2回目を接種

※新型コロナワクチンの有効性や安全性(アナフィラキシーショック)、既往症や服薬管理など、個別かつ専門性の高い相談については、かかりつけ医または県が設置予定の専門窓口での対応とします

※新型コロナワクチン接種に起因すると考えられる健康被害が生じた場合、予防接種法に基づく「予防接種後健康被害救済制度」に従って救済措置を行います。



井藤圭順よりお願い

高齢者や障がい者の皆様には昨年に引き続き、暮らしの緊急支援としてサポート利用券がお手元に届いたと思います。今は不要不急の外出をお控えいただき、タクシーやデリバリーでお使いください。有効期限である6月30日までに気を付けて時期を考えて有効にご活用ください。

2021年3月現在、報道では世界中で変異ウィルスの報告がなされています。中には感染力・致死率ともに従来のウィルスを凌駕するものもあり、疾患をお持ちの方はご自身の命を守る行動をとるよう、引き続きよろしくお願いします。



人丸小学校児童クラブに対する井藤圭順の取り組み報告

昨年12月に本会議質問した、子ども子育て支援事業についての地元における井藤圭順の活動を紹介します。

全国的に少子高齢化・地方人口減少が進む中、明石市では子育て支援策の効果により過去最多の人口となりました。悲願でもある30万人も突破する中、25歳から40歳の子育て世帯や5歳未満の子どもの増加に目を見張るものがあります。



その影響をうけ小学校における児童増加への対応が後手に回らぬよう実施した活動報告です。井藤圭順の母校でもある人丸小学校は市内でも特に児童数の急増が著しい状況にあります。

そんな中、放課後児童クラブの受け入れ枠に関する将来見込みが令和6年時点で**269人**となっており平成27年に新築した建物は定員**150名**の設備でした。令和2年現在でも**217**人の児童が利用しており、市内でも随一の利用数となっています。すでに設備だけでは対応できず空き教室などを利用する運用で対処しておりますが、このままでは破綻が目に見えている状況でした。これを踏まえ、関係部局と十分議論して参りましたが、普通教室の利活用では子どもたちや物品のセキュリティ面などで**安心・安全な環境では無い**と判断しました。そこで、井藤圭順は**市長**に当該状況の改善を要望したところ、1階は小学校の教室・2階に児童クラブが入る2階建てのプレハブ教室が急遽増築される運びとなりました。

井藤圭順が危機意識を持ち迅速に取り組んだ結果、このような目に見える形で成果が出たことは非常に喜ばしくもあり、今後も引き続き当該施設を活用した子育て状況などをチェックして参ります。

また、人丸小学校と同様の問題を抱えている校区に対しても積極的に行政と調整して対応して参ります。父である井藤圭湍元市議の議員としての活動理念を継承すべく、日々教育・保育現場を奔走し続けています。今後も教育現場の生の声を行政に送り続けることで、どこの市よりも**質の高い子育て環境**となるよう強い覚悟を持って提言し続けて参ります。

最後に、これからも引き続き皆様方のご支援いただきますよう、心よりお願い申し上げます。Facebookを通して日々の活動も報告しておりますので、Facebookをされている方はそちらの方もご覧頂けたら幸甚に思います。



プレハブ新校舎(令和3年3月撮影)